

## V 「芸術 I」の選択について

「芸術 I」(2単位)は1年次の必修修選択科目です。

「音楽 I」・「美術 I」・「工芸 I」・「書道 I」の中から1科目を選択し、履修します。

以下の説明をよく読んで希望する科目を選択し、入学手続き用 LoGo フォームに入力してください。(フォーム URL 等はP.6の「LoGo フォームへの入力について」をご確認ください。)

### 1 「芸術 I」科目の授業内容

#### (1)音楽 I

音楽の楽しさや美しさを実感的に理解するとともに、感性を豊かにし、芸術音楽への理解を深めることを目指して学んでいきます。

- ① さまざまな形態による演奏活動(斉唱・合唱・器楽)に取り組み、表現力を身に付けます。
- ② 鑑賞を通し多様な音楽作品に触れることで、幅広い音楽に親しみ、知識を身に付けていきます。

#### (2)美術 I

作品の制作を通して美術の感性と表現力を身に付けるとともに、芸術作品に触れることで美術の良さや楽しさを知ることを学びます。

- ① 鉛筆や絵の具などを使った平面(絵画・デザイン)の作品等を制作します。
    - ・自由な発想による個性豊かな作品
    - ・描く対象を観察して、その良さや美しさを捉えた作品
  - ② 美術作品を鑑賞し、作品の良さや美しさを味わうことで美術の感性を高めます。
- ※ 積立金より教材費として 5,000 円程度支出します。

#### (3)工芸 I

手で「もの」を「つくる」科目です。造る実感と、楽しさ・喜びを体験して「もの」を造り、「表現」することを考えます。その中から「制作・表現」と生きることの関わりを学びます。

- ① 各種実材(仮の材料でない実際の材料)による作品を制作する中で、素材を見つめ、手を掛けることにより「もの」が出来てくる充足感を養います。
  - ② 材料の特質を理解し、造る物の目的・用途を考え、美しさを備えた作品を作ることで、自由な発想で構想する制作図法を学びます。
  - ③ より自在な表現ができるよう、素材の特性に応じた技法や用具の使用法について学びます。必要に応じて手工具の仕立て方も学びます。
  - ④ 伝統的な技法の一端を知ること、造形的な感性を育み、「もの」を造る喜びを体得します。
- ※ 制作するもの:ウッドカービング他。用具・教材の条件により若干の変更をする場合があります。
- ※ 積立金より教材費として 4,000 円程度支出します。

#### (4)書道 I

日・中の名品を鑑賞するとともに、古典学習を通して文字の歴史をたどります。

中学校までの書写の学習を基にして、正しい筆使いや、筆順を理解し、より美しい文字を書けるように学習します。

- ① 楷書、行書、その他の書体、仮名の書などについて学びます。
- ② 書道の文化を理解し、書の美しさを感じる心を育てます。
- ③ 書の美しさや良さを発見する力を養い、自ら進んで制作することで集中力や努力する姿勢を身に付けます。

※ 各自、次の書道用具をそろえてください。(墨汁、書道用半紙、文鎮)

※ 作品制作材料として次の用具を一括して購入します。(かな用小筆、かな用半紙、条幅用半折等)代金は 4,400 円程度で、積立金より支出します。

## 2 選択する上で注意すること

(1)2年次以降「芸術Ⅱ」「芸術Ⅲ」を選択するときに、「芸術Ⅰ」で履修していない科目を選択することはできません。Ⅰ・Ⅱ・Ⅲという区分のある科目については、Ⅰを履修していないとⅡ・Ⅲは選択できません。また、芸術Ⅱ・Ⅲの科目では、希望者が少ない場合には、開講されないこともあります。ご了承ください。

(2)進学の関係で、第1希望の科目を強く希望する場合、調査票の理由欄にその旨を記入してください。但し、その場合も第2希望の記入は必要です。

(3)可能な限り、第1希望を優先しますが、担当者・時間割・クラス分けの関係で第2希望となる場合があります。調査票の理由欄を記入した場合でも、第2希望になる場合があります。ご了承ください。